

令和8年度 観西エルモ 事業計画書

1 今年度の目標

・ 設立初年度のため、地域での認知度を高める。
・ 住民同士の交流を促進するため、交流の場となる地域行事の充実を図る。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	わたしのまち観西 2026 ドリームカムツリー	(4) 事業中(1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年12月6日 ～ 令和9年1月10日	
(2) 実施場所	広島市立五日市観音西小学校	
(3) 参加者数	1,000人(見込み)	
(4) 主催団体	観西エルモ(こどもネット)、観音西学区おやじの会、五日市観音西学区青少年健全育成連絡協議会、五日市観音西学区町内会連合会	
4 取組内容	10月頃に実施団体会議を行う。そこで、各担当などを決める。 11月下旬頃から、イルミネーション電飾飾りつけ準備作業、実施日前日までに舞台等大がかりな設置を、2日を掛けて実施する。 実施日当日(12月6日)、運営側は早朝に集合し、イベントについて最終打合せを行う。 開会式後、イベントについては、パフォーマンスステージ、タイヤ円盤投げ、紙飛行機飛ばし、なわとびバトルなどのこどもを中心に世代を超えた参加者で競い合う。夕方からイルミネーション点灯式でクライマックスを迎える。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) - 子ども会の廃止により、学校以外でこどもを育成する場が失われていることから、こどもや保護者だけでなく、地域住民も一緒になって楽しむことができるイベントを実施することで、住民同士の交流の活性化を図る。 - こどもたちが将来、仲間を作り地域を盛り上げる大人になって欲しいという願いを持って「ふるさと観西の創造」「観西っ子の育成」をモットーに実施する。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) - イルミネーションを鑑賞することにより、行事への関心の向上、地域への愛着の醸成が期待できる。 - 若年層にもイルミネーションの準備や当日の点灯式に参加してもらうことで、こどもを対象とした行事への関心を高め、次代の担い手の確保へとつなげていく。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	観西ふれあい集会 とんど祭り	(4) 事業中(2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和9年1月10日	
(2) 実施場所	広島市立五日市観音西小学校	
(3) 参加者数	600人(見込み)	
(4) 主催団体	観西エルモ(こどもネット)、観音西学区おやじの会、五日市観音西学区町内会連合会	
4 取組内容	12月下旬から事前準備(お焚き上げの中心となる竹の切り出しなど)に入る。 実施日前日に1日を掛けて竹の組み立てを行う。 イベントについては、五日市高校生による書道パフォーマンス、餅つきなどを行い、組立てられた竹の中に、焚き上げる書初めやしめ縄、門松などをセットし点火。燃え上がる炎に無病息災など祈願。燃え尽きた灰についても、学校行事に支障の無いよう片付けを行う。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 地域の各団体に準備や運営の段階から携わってもらい、事業への関心を高めることで、地域への愛着の醸成や伝統文化の継続を図る。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) - 多世代間で意見交換等を行いながら餅つきや焚き上げを行うことにより、参加者の地域活動への関心を向上させ、次代の活動の担い手確保につなげる。 - 無病息災、家内安全を祈願するため、たくさんの住民の方々が集い交流を行うため、参加者間で親睦が深まる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	学校へ泊まろう会	(4) 事業中(3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年9月27日 ～ 令和8年9月28日	
(2) 実施場所	広島市立五日市観音西小学校	
(3) 参加者数	200人（見込み）	
(4) 主催団体	観西エルモ（こどもネット）、観音西学区おやじの会、 五日市観音西学区町内会連合会、広島市佐伯区観音西地区民生委員児童委員協議会、 広島市立五日市観音西小学校PTA	
4 取組内容	8月から9月頃、事前準備（係担当の取り決めなど）を行う。 開催内容については、こどもたちに体験してもらうことを中心に、テントでの宿泊体験、水遊び、キャンプファイア、食事作りなどを行う。 高学年がリーダーとなりグループの運営を行う体験では、なかなか言うことを聞かない生徒をいかに一体とさせられるか非常に苦労する面も。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） - こども同士が考え助け合う場が少なくなっているため、本事業を通じてこども同士の絆を深めることで、連帯の重要性を考える機会を創出し、こども達の育成を図る。 - 高学年がリーダーとなりグループの運営を行う体験を通じて、こども同士の仲間意識の醸成を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） - こども同士で助け合う機会を通じて、こどもの心の成長や他者への気遣いや思いやりの精神が養われることが期待できる。 - 高学年においては、リーダーシップのミニ体験となり、やり遂げたという感覚を得ることができる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	ふれあい湧水まつり	(4) 事業中 (4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年11月1日	
(2) 実施場所	広島市観音台公民館	
(3) 参加者数	400人（見込み）	
(4) 主催団体	広島市観音台公民館まつり実行委員会、観西エルモ	
4 取組内容	日頃公民館利用して活動しているグループや地域団体と湧水まつりについての話し合い～各部会の設置・出展等を検討し、様々な展示・バザー・ステージなどを行う。 開催前日に会場設置、展示～当日朝オープニング等最終チェック～オープン～終了後後片付け (内容) オープニング : 五日市高校書道部による書道パフォーマンス 作品展示等 : 水彩画、写真、絵手紙、IT塾など パフォーマンス : ハーモニカ演奏、混声合唱、演武、五日市高校軽音楽部、キッズダンス バザー : 陶芸作品、軽飲食、有休品（衣類など）	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 公民館という誰もが利用できる場所で、地域の皆さんの社会参画活動や学習成果の支援の発表を行うことにより、個々のモチベーションを高めるとともに、このような活動を通じて仲間づくりを広げていく。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） - 毎年、活動団体の発表を多くの方々が見学される中、発表された展示等で共通の趣味を持った方々が知り合うことで、横の繋がり（仲間づくり）ができることが期待できる。 - キッズダンス等のパフォーマンスは、こどもたちにとってとても思い出深い発表の一つとなっており、発表を行うこども達だけでなく、保護者同士でも親睦を深めることが期待できる。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
	特になし		